

**入試
対策**

サイコロ投げ, 硬貨投げ, トランプカード, 赤球白球などと確率問題の材料はいくらでもある。しかし基本となるのは場合の数の求め方であって, 樹形図をかくなどの方法で題意を正しく把握することが大切である。微分の利用, \log の計算, 極限値を求める, ベクトルとからむものなど, 実戦では多様に出題されるが, 本節では数学 I, 数学 A の範囲に絞ってある。 Σ の計算が多用されるが, これはとくに注意して勉強されたい。加法定理でいくか乗法定理でいくかの区別は, 問題解決のためのキーポイントである。

1st step

⇨ 解答は「考え方と解答」17 ページ

- 59** 袋の中に赤球 3 個と白球 7 個とが入れている。この中から任意の 3 個を同時にとり出すとき, 3 個が白球ばかりである確率は \square , 3 個が同色の球である確率は \square , 3 個中に赤球も白球も含まれる確率は \square である。 (岡山商大)
- 60** 1 から 9 までの数字カード 9 枚がある。このうちから任意に 1 枚ずつ 3 枚を取り出し, 順に並べて 3 桁の整数をつくるとき
 (1) その 3 桁の整数が偶数になる確率を求めよ。
 (2) その 3 桁の整数が 3 の倍数になる確率を求めよ。 (名古屋女大)
- 61** サイコロを 6 回ふる。次の各事象の確率を求めよ。
 (1) 1 の目が 1 回も出ない。
 (2) 出た目の最大数が 3 である。
 (3) 1, 2, 3, 4, 5, 6 の目がすべて出る。 (東海大-教養)
- 62** サイコロ 3 個を同時にふるとき, 出た目の数の和が 12 になる確率を求めよ。 (立教大-理)
- 63** 1 個のサイコロを 2 回投げるとき, 1 回目に出る目を a とし, 2 回目に出る目を b とする。このとき, 方程式 $ax^2+bx+1=0$ が実数解をもつような a, b が出る確率は \square であり, 有理数解をもつような a, b が出る確率は \square である。 (神戸女子薬大)

- 64** 2つのサイコロを同時に投げる試行を考える。 A は少なくとも1つ1の目が出る事象、 B は出た目の和が奇数となる事象である。
- (1) 次のそれぞれの場合が起こる確率を求めよ。
- (i) A (ii) $A \cap B$ (iii) $A \cup B$ (iv) $A \cap \overline{B}$ (v) $\overline{A} \cap B$
- (2) A, B のどちらか一方だけが起こる事象を $A, B, \cup, \cap, \overline{}$ を用いて表せ。また、その事象が起こる確率を求めよ。 (奈良女大)
-
- 65** 箱の中に赤玉が4個、白玉が4個、青玉が6個入っている。
- (1) この箱の中から5個の玉を同時にとり出すとき、その中に赤玉が1個、白玉が2個、青玉が2個入っている確率は である。
- (2) この箱の中から玉を1個とり出してはもとに戻すという操作を5回くり返したとき、赤玉が1回、白玉が2回、青玉が2回とり出される確率は である。 (東京理大-理工)
-
- 66** 2つのサイコロ A, B をふり、出る目をそれぞれ a, b とするとき、 ${}_{10}C_a < {}_{10}C_b$ となる確率は であり、 $3 \times {}_{10}C_a < {}_{10}C_b$ となる確率は である。 (神戸女子薬大)
-
- 67** (1) 白い玉を2個、黒い玉を2個、全部で4個の玉を円周上に並べる。このとき、同じ色の玉が隣り合わない確率を求めよ。
- (2) 赤い玉を2個、青い玉を2個、黄色い玉を2個、全部で6個の玉を円周上に並べる。このとき、同じ色の玉が隣り合わない確率を求めよ。 (東北大-理系)
-
- 68** 半径1の円に内接する正十角形の頂点を1つずつ選んでいく。まず、10個の頂点から勝手に1つの頂点を選び、それを P_1 とする。次に、残りの9個の頂点から勝手に1つの頂点を選び、それを P_2 とする。以下これをくり返して、頂点 P_3, P_4 を選ぶ。
- (1) 線分 P_1P_2 が円の直径になる確率を求めよ。
- (2) $\triangle P_1P_2P_3$ が直角三角形である確率を求めよ。
- (3) P_1, P_2, P_3, P_4 の中の3頂点を結んでえられる三角形の中に少なくとも1つは直角三角形がえられる確率を求めよ。 (千葉大)
-
- 69** (1) 区別のつかない n 個の玉を異なる r 個の箱へ入れるとき、全部で何通りの場合があるか。
- (2) (1)のすべての場合が等確率で起こるとしたとき、 r 個のどの箱にも少なくとも1個の玉が入る確率を求めよ。ただし、 $n > r$ とする。 (横浜市大-文理・医)

70 2人のプレーヤー A と B が硬貨投げを行う。このとき、硬貨の表と裏が出る確率は同じであるとする。最初 A, B それぞれの所持金は 6 ドルであり、1 回投げるたびに、表が出れば A は B から 1 ドルもらい、裏が出れば A は B に 1 ドル渡すと約束する。

- (1) 硬貨を 5 回投げて表が 2 回出る確率は である。
- (2) 硬貨を 5 回投げて表が 2 回出た場合、A の所持金は ドルになる。
- (3) 硬貨を 5 回投げて、その結果、A の所持金の期待値は (ドル) である。

(近畿大-理工)

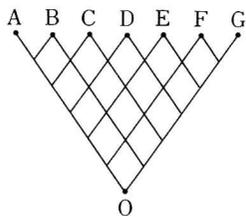
71 1 から n ($n \geq 3$) までの自然数を 1 つずつ書いた n 枚のカードがある。その中から、でたために 3 枚のカードを同時にとり出すとき、それら 3 枚のカードに書いてある数の中で一番小さい数を X_1 , 2 番目に小さい数を X_2 , 残りの数を X_3 とする。さらに、 $Y = X_3 - X_1$ とする。

- (1) $n = 5$ のとき、 $X_2 > Y$ となる確率を求めよ。
- (2) 一般の n に対して、 $Y = k$ となる確率 $P(Y = k)$ ($k = 2, 3, \dots, n-1$) と Y の期待値

$E(Y)$ を求めよ。ただし、必要なら $\sum_{k=1}^n k^3 = \left\{ \frac{n(n+1)}{2} \right\}^2$ を用いてよい。 (北大-理系)

72 右図の点 O から出発し、公正な銅貨を投げて、表なら斜め右上へ、裏なら斜め左上へ 1 つずつ進むものとする。

- (1) 点 D に到達する確率を求めよ。
- (2) 点 D に線分 OD より左側には行かず、到達する確率を求めよ。
- (3) 点 D に到達すれば得点 5, 点 B, C, E, F のいずれかに到達すれば得点 -1, 点 A または点 G に到達すれば得点 10 がえられるものとする。得点の期待値 (平均) を求めよ。



(九大-法・経済)

2nd step

☞ 解答は「考え方と解答」19 ページ

73 a, b を 1 から 6 までの自然数とする。2 個のサイコロ C, D を投げて、それぞれの目の数 c, d が $ad - bc = 0$ をみたす確率を $p(a, b)$ で表す。

- (1) $p(1, 1)$ を求めよ。さらに、 $k = 2, 3, \dots, 6$ に対して $p(1, 1) = p(k, k)$ を示せ。
- (2) $p(1, 2)$ を求め、 $p(1, 2) = p(a, b)$ となるような (a, b) をすべて求めよ。

(奈良女大)

74 数字 1, 2, 3 を 1 つずつ書いた 3 枚のカードがある。これをよく切って 1 枚ひき、またもとに戻すという試行を n 回 ($n \geq 3$) 行う。 n 回やっても 1 度も出ない数字がある確率を p_n , n 回目にはじめて数字 1, 2, 3 が全部出そう確率を q_n とする。

- (1) p_3, p_4, q_3, q_4 を求めよ。
- (2) p_n, q_n を求めよ。

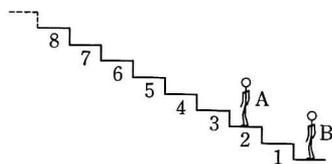
(三重大-工・医)

- 75** 仲の良い4人の友達 A, B, C, D がクリスマスパーティでプレゼントを交換する。つまり、4人の持ち寄ったプレゼントを公平な抽選で分けるのである。このとき、
- (1) A君が自分自身の持ってきたプレゼントに当たる確率を求めよ。
 - (2) A君にはB君の持ってきたプレゼントが当たり、残りのB, C, Dのうちの誰かが自分自身の持ってきたプレゼントに当たる確率を求めよ。
 - (3) 自分自身の持ってきたプレゼントに誰も当たらない確率を求めよ。 (九大一文系)
- 76** 1から n までの n 個の自然数から1つ選ぶことを、A君とB君がそれぞれに行う。選ばれた数を X, Y とするとき、
- (1) $X+Y$ が偶数になる確率を求めよ。
 - (2) $|X-Y|>k$ となる確率を求めよ。 k は $0\leq k\leq n$ をみたす整数である。 (福井医大)
- 77** 表と裏の出る確率がそれぞれ $\frac{1}{2}$ である硬貨を $2n$ 回投げるとき、表が r 回以上出る確率を a_r 、表が s 回以下出る確率を b_s とする。
- (1) $n=1$ のとき、 a_1, b_1 を求めよ。
 - (2) $a_n=b_n$ を示せ。
 - (3) $a_{n+1}=\frac{1}{2}\left\{1-\frac{(2n)!}{(2^n\cdot n!)^2}\right\}$ を示せ。 (群馬大)
- 78** サイコロをくり返し n 回ふって、出た目の数を掛け合わせた積を X とする。すなわち、 k 回目に出た目を Y_k とすると、 $X=Y_1Y_2\cdots Y_n$
- (1) X が3で割り切れる確率 p_n を求めよ。
 - (2) X が4で割り切れる確率 q_n を求めよ。 (京大一文系)
- 79** 袋の中に番号 $0, 1, 2, \dots, n-1$ のついた札がそれぞれ1枚ずつ入っている。この袋から2枚の札をとり出したとき、それらの札の番号の和を n で割った余りが k である確率を求めよ。ただし、 $n\geq 2, 0\leq k\leq n-1$ とする。 (一橋大)
- 80** 1個のサイコロを100回つづけて投げるとき、1の目が n 回出る確率を $p(n)$ で表すことにする。ただし、 n は $0\leq n\leq 100$ なる整数とする。
- (1) $p(n)$ の値を n を用いて求めよ。
 - (2) n が $0\leq n<100$ なる整数のとき、 $p(n)<p(n+1)$ なる n の値の範囲、および $p(n)>p(n+1)$ なる n の値の範囲を求めよ。
 - (3) $0\leq n\leq 100$ なる整数 n のうち、 $p(n)$ の値を最大にするような n の値を求めよ。 (近畿大一理工)

- 81 ある工場で大量に生産される部品 A に不良品が含まれる確率を p とする。いま、この部品を 3 個抜きとって、その中に不良品が多くとも 1 個見つかる確率を p_1 、またこの部品を 6 個抜きとって、その中に不良品が多くとも 2 個見つかる確率を p_2 とするとき、 $p_2 < p_1$ となる p の範囲を求めよ。
(同志社大-工)

- 82 面積 1 の正五角形の頂点を順に A, B, C, D, E とする。 $\triangle ABC$ の面積を S_1 とし、それに合同な三角形を 5 個つくる。また、 $\triangle ACD$ の面積を S_2 とし、それに合同な三角形を 3 個つくる。この合計 8 個の三角形から任意に 3 個とり出し、その面積の和を X 、 X の期待値 $E(X)$ を $E(X) = \alpha S_1 + \beta S_2$ とおく。
(1) α, β を求めよ。
(2) 線分 AC と線分 AB の長さの比を求めよ。
(3) $E(X)$ の値を求めよ。
(熊本大-理系)

- 83 かなりの段数のある石段があり、右図のように A は下から 2 段目、B は最下段にいる。A は毎回確率 $\frac{1}{2}$ で 1 段、確率 $\frac{1}{2}$ で 2 段登り、B は毎回確率 $\frac{1}{3}$ で 1 段、確率 $\frac{2}{3}$ で 2 段登る。2 人は同時に登りはじめた。
(1) A, B それぞれが 4 回登ったとき、ともに 7 段目にいる確率を求めよ。
(2) 4 回登ったとき、A が X 段目、B が Y 段目にいるとする。 $Y - X$ の期待値を求めよ。
(名古屋市大-医)



- 84 サイコロを n 回投げる。ただし、 $n \geq 2$ とする。そして次のルールで得点を与える。
(i) 1 の目が 2 回以上出た場合には、得点 -30 点を与える。
(ii) 上記以外の場合には、サイコロを投げるたびに、1 の目が出れば -10 点、1 以外の目が出れば 10 点を与えて、 n 回の合計を得点とする。
 n を $n \geq 2$ の範囲で変化させるとき、得点の期待値を最大にする n を求めよ。
(慶大-医)

- 85 1 から n までの相異なる n 個の自然数 ($n \geq 4$) の中から無作為に 2 個をとり出し、大きい方を X_1 、小さい方を Y_1 とする。次に残りの $(n-2)$ 個の自然数の中から無作為に 2 個をとり出し、大きい方を X_2 、小さい方を Y_2 とする。次の期待値を求めよ。
(1) $X_1 + Y_1$ (2) X_1 (3) Y_2
(京大-理系)

4 三角比

**入試
対策**

ここでの内容は 180° までの三角比の計算と図形についての問題の処理である。計算だけのものは基本的な内容のものが多く、出題も少ない。主力は図形である。もっとも多く用いられる正弦定理と余弦定理をどのように活用して問題を解いていくか、それだけだといっても過言ではない。ただ定理をおぼえるだけでは問題は解けない。どんな場合にどのように使うか、成果はこの2つの定理の完全マスターにかかっている。

1st step

☞ 解答は「考え方と解答」23 ページ

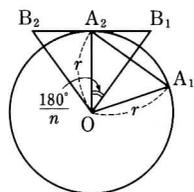
- 86** (1) 実数 θ が $\sin\theta + \cos\theta = \frac{1}{2}$ をみたすとき、 $\sin\theta \cos\theta = \square$ であり、 $|\sin\theta - \cos\theta| = \square$ である。
(関西学院大-経済)
- (2) $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ で $8\sin\theta - \cos\theta = 7$ とすると、 $\tan\theta = \square$ または $\tan\theta = \square$ である。
(大阪産業大-経済)
- 87** (1) $\triangle ABC$ で、 $\angle A = 60^\circ$ 、 $AB = 3$ 、 $AC = 5$ とする。BC の中点を P とするとき、 $AP = \square$ である。
(拓殖大-外国語)
- (2) $AB = 8$ 、 $AC = 5$ 、 $\angle A = 60^\circ$ の $\triangle ABC$ の頂点 A から対辺 BC にひいた垂線と BC との交点を H とする。このとき、 $BC = \square$ 、 $\triangle ABC$ の面積は \square 、 $CH = \square$ 、外接円の半径は \square である。
(東海大-医)
- 88** 次の条件をみたす $\triangle ABC$ はどのような三角形か。
- (1) $\angle A = 120^\circ$ 、 $2a = \sqrt{3}(b+c)$ (日本工大)
- (2) $2\sin B \cos A = \sin B + \sin C - \sin A$ (神戸女大)
- 89** 1 辺の長さが c であり、その両端の角 α 、 β が鋭角である三角形の面積を求めよ。
(東京学芸大)
- 90** 1 辺の長さが a cm の正三角形 ABC が円 O に内接している。このとき、
- (1) (点 A を含まないほうの) 弧 BC の上に $AP = x$ cm となるように点 P をとるとき、 $BP + CP$ は何 cm か。
- (2) $\frac{AP^2 + BP^2 + CP^2}{OA^2}$ を求めよ。
(山形大-人文)

- 91 1 辺の長さが 1 の正三角形の頂点を A, B, C とする。点 A, B, C を中心とする半径 1 の円をそれぞれ S_A, S_B, S_C とするとき, $S_A \cap S_B \cap S_C$ の面積は \square , $S_A \cup S_B \cup S_C$ の面積は \square である。
(会津大)
- 92 周囲の長さが 4 で, $\angle DAB = 60^\circ$ である平行四辺形 ABCD の面積を S とし, 辺 AB の長さを x , 対角線 BD の長さを y とする。
(1) S を x の式で表せ。
(2) y を x の式で表せ。
(3) S が $S \geq 4 - 2\sqrt{3}$ をみたすとき, y の値の範囲を求めよ。
(都立大一文系)
- 93 $\triangle ABC$ の辺 BC, CA, AB の長さをそれぞれ a, b, c , また, その各辺上の点をそれぞれ E, F, G とする。いま, 三角形の面積の間に $\frac{1}{5}\triangle ABC = \triangle AFG = \triangle BGE = \triangle CEF$ の関係が成り立つとき, AF, BG, CE の長さを a, b, c で表せ。
(同志社大一商)
- 94 3 辺の長さが 25, 20, 15 の三角形がある。この三角形の内接円の半径は \square である。また, 内接円と 3 辺との接点を 3 頂点とする三角形について, 最小辺の長さは \square , 面積は \square となる。
(東京薬大)
- 95 $\triangle ABC$ を 1 辺の長さが 3 の正三角形とする。辺 AB 上に, $AD = 1$ であるような点 D をとる。さらに, 点 E, F, G をそれぞれ辺 BC, CA, AB 上にとり, $\angle BED = \angle CEF, \angle CFE = \angle AFG$ となるようにする。このとき,
(1) $\frac{BE}{BD} = t$ とおけば, $CF = \frac{\square}{t} - 1 \square$, $AG = \square t - \square$ である。
(2) とくに, G が D に一致するときは, $t = \frac{\square}{\square}$, $DE = \frac{\square \sqrt{\square}}{\square}$ であり, $\triangle DEF$ の面積は $\frac{\square \sqrt{\square}}{\square}$ である。
(センター試験)
- 96 岸壁から離れた沖合いに 2 隻の船 A, B が停泊している。いま AB 間の距離を測りたいのだが, 測れるのは岸壁上での任意の 2 点間の距離と, 岸壁上の任意の点において各船を見通す方向と岸壁上の線分とのなす角度のみであるという。
(1) どのようにすれば AB 間の距離を求められるか, その方法を書け。
(2) その計画に従って測定したとして, 計算に必要なすべての具体的な数値を仮定し, AB 間の距離を計算せよ。
(神戸女大一文・家政)

- 97 $\triangle ABC$ の面積を S とする。
 (1) S を b, c, A で表せ。
 (2) $\cos A$ を a, b, c で表せ。
 (3) $a+b+c$ が一定の三角形のうちで、面積最大のものが正三角形であることを示せ。
 (自治医大)

- 98 長さ a, b の 2 つの線分と、大きさ θ ($0^\circ < \theta < 180^\circ$) の角が与えられている。 $BC=a, AC=b, \angle A=\theta$ となる $\triangle ABC$ がつくられるための a, b, θ の条件を求めよ。(滋賀大-教育)

- 99 半径 r の円に内接する正 n 辺形を E_n , 外接する正 n 辺形を F_n とするとき、



- (1) E_n, F_n の面積を n, r を用いて表せ。
 (2) $\frac{E_n}{F_n}$ を最も簡単な式で表せ。また、 $\frac{E_6}{F_6}$ を求めよ。

(明星大-理工)

- 100 1 辺の長さが 2 の正四面体 $OABC$ がある。辺 AB の中点を M , 2 平面 ABC, OAB のなす角を θ とする。 OM の長さと $\cos \theta$ を求めよ。(星葉大)

2nd step

☞ 解答は「考え方と解答」26 ページ

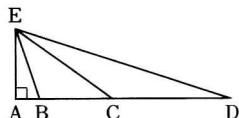
- 101 $\angle A$ が直角, $\angle C=\theta$ で、斜辺の長さが 1 の直角三角形 ABC がある。この直角三角形の斜辺 BC 上に 1 辺があり、辺 AB, AC 上にそれぞれ 1 つの頂点をもつ正方形の 1 辺の長さを θ を用いて表せ。(大分大-教育・経済)

- 102 大きさが 30° の $\angle XOY$ の内部 (OX, OY を含む) に、1 辺の長さが 1 の正三角形 PQR がある。さらに、 P は OX 上を、 Q は OY 上を動き、 R は PQ に関して O と同じ側にある。 $\angle OPR = \theta$ とするとき、

- (1) θ のとりうる値の範囲を求めよ。
 (2) OP を θ で表せ。
 (3) 点 R はどのような曲線上を動くか。

(同志社大-法)

- 103 右図の $\triangle EAD$ で、 $\angle EAD=90^\circ, \angle ADE=18^\circ$ とし、 C, B は辺 AD 上の点で $EC=CD=2, EB=BC, AC=x$ とする。



- (1) AB を x の式で表せ。
 (2) x の値を求めよ。

(早大-教育)

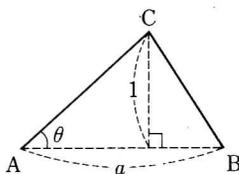
- 104 (1) $X^3+Y^3+Z^3-3XYZ$ を $X+Y+Z$ で割ったときの商を求めよ。
 (2) (1)の結果を用いて, x, y, z がすべて正の数であるとき, $x+y+z \geq 3 \cdot \sqrt[3]{xyz}$ が成立することを示せ。等号が成立するのはどのような場合か。
 (3) 3辺が a, b, c の三角形に半径 r の円が内接している。 $s = \frac{1}{2}(a+b+c)$ とするとき, $\sqrt[3]{sr^2} = \sqrt[3]{(s-a)(s-b)(s-c)}$ が成立することを示せ。また, r が一定のとき, (2)を用いて, 面積を最小にする三角形の3辺 a, b, c と面積 S を求めよ。 (広島県大)

- 105 頂点 A, B からおろした垂線の長さがそれぞれ $3\text{ cm}, 4\text{ cm}$ である $\triangle ABC$ がある。頂点 C からおろした垂線の長さを $x\text{ cm}$ とするとき,
 (1) x の範囲を求めよ。
 (2) x が 6 であるとき, $\cos A$ と辺 BC の長さを求めよ。 (山形大-人文)

- 106 $\triangle ABC$ において, $AB=c, BC=a, CA=b, \triangle ABC$ の外接円の半径を R とおく。
 (1) c と R を一定とする。 $k = \frac{a^2+b^2-ab\cos C}{ab}$ が最小になるのは, $\triangle ABC$ がどのような三角形のときか。ただし, $\cos C \geq 0$ とする。
 (2) (1)において, $R = \frac{\sqrt{5}}{2}$ とする。 k の最小値が $\frac{4}{3}$ のとき, a, b, c を求めよ。 (産業医大)

- 107 $\triangle ABC$ と $\triangle PQR$ の間に次の関係が成り立つとする。
 $PQ=2AB, PR=2AC, QR=BC$
 このとき,
 (1) $b=AC, c=AB$ とするとき, $\cos P$ を b, c と $\cos A$ を用いて表せ。
 (2) b, c と $\angle A$ ($0^\circ < \angle A \leq 90^\circ$) が変化するとき, $\cos P$ が最小値をとるのは, $\triangle ABC$ がどのような三角形のときか。また, このときの $\cos P$ の最小値を求めよ。
 (3) (2)のとき, $\triangle ABC$ と $\triangle PQR$ の面積の比を求めよ。 (京都産業大-経営)

- 108 図のように水平な2地点 A, B を結び, C を頂上とする坂道がある。 AB 間の距離を a , C の高さを 1 とする。水平線に対する角度が α の坂道を上るときの速度が $\cos \alpha$, 下るときの速度が $\frac{1}{\cos \alpha}$ の車で AB 間を往復したい。 $\angle CAB = \theta, \tan \theta = x$ として, 次の問いに答えよ。



- (1) $\cos \theta$ および $\sin \theta$ を x で表せ。
 (2) A から B へ行くときの時間 T_1 を x で表せ。
 (3) B から A へ行くときの時間 T_2 を x で表せ。
 (4) AB の間を往復する時間 T が最小になるときの x および T の値を求めよ。

(東京農工大-工)

109 四角形 ABCD の頂点は同一円周上にある。各頂点における内角の大きさをそれぞれ A, B, C, D で表し、辺 AB, BC, CD, DA の長さをそれぞれ a, b, c, d とする。このとき、

(1) $\cos A = \frac{a^2 + d^2 - b^2 - c^2}{2(ad + bc)}$ を導け。

(2) $a + b + c + d = 2s$ とおけば、この四角形の面積は $\sqrt{(s-a)(s-b)(s-c)(s-d)}$ となることを示せ。
(同志社大-工)

110 鋭角三角形 ABC が与えられている。点 A を 1 つの頂点とする長方形 ADEF が、次の条件 (i), (ii) を満たしながら変化するものとする。

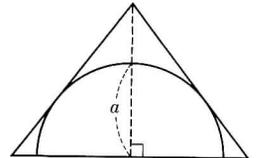
(i) 辺 DE 上に点 B がある。 (ii) 辺 EF 上に点 C がある。

このとき、長方形 ADEF の面積の最大値を θ, b, c を用いて表せ。ただし、 $\theta = \angle BAC, b = CA, c = AB$ である。
(阪大-理系)

111 $DA = DB = DC = a, BC = CA = AB = 6$ の四面体 ABCD において、面 DAB と面 ABC のなす角を θ とし、内接球の半径を r , 外接球の半径を R とする。

もし、 $r = 1$ ならば、 $\tan \theta = \square, a = \square, R = \square$ となる。
(東京薬大)

112 直円錐が、右の断面図のように半径 a の半球に外接しているとす。このような直円錐の底面積と側面積の和の最小値を求めよ。
(北大-理系)



113 (1) 半径 a の円に内接する三角形の面積の最大値を求めよ。
(2) 半径 1 の球に内接する四面体の体積の最大値を求めよ。
(上智大-理工)

114 長方形の紙 ABCD がある。ただし、 $AB = a, BC = b, a > b > 0$ とする。対角線 BD の中点 M を通って BD に垂直な直線 EF を折り目としてこの紙を折り曲げ、平面 AEFD が平面 EBCF に垂直になるようにする。この空間図形における $\angle CFD$ の大きさを θ とおく。ただし、 $0^\circ < \theta < 180^\circ$ とする。

(1) $\cos \theta$ を a, b で表せ。
(2) θ の存在する範囲を求めよ。
(長崎大-教育・医)

